

平成3年度

第6回幹事会 報告

日時：平成4年1月13日

会場：回生看護学院会議室

平成4年度

第1回幹事会 報告

日時：平成4年4月13日

会場：淀川キリスト教病院

I 各事業部報告と協議事項

事務局（総務・会計）①会員異動；なし。②会計；年間収支報告。③近畿地区医学図書館協議会第53回例会（1/27,大阪大学生命科学図書館）へ小田中、前田の両名出席。④会長へ年間活動の中間報告（1/30 事務局長、会報編集部長）。⑤総会、役員会の準備について協議。

事務局、研修部、会誌・会報編集部、統計調査部、総合目録編集委員会の各事業部は平成3年度の活動を総括し、来年度の活動計画について協議した（総会報告参照）。

II 決定事項

- (1) 複写料金については会員間の文献流通に料金の混乱が生じないように1975年以来、基準料金を設定している。複写ミスの予備費を考慮し、また当時の国公立大学医学図書館の料金に準じて1枚35円に設定された。その後コピー機器の普及や改良があったものの、料金は据え置かれていた。今回、改訂について検討したが国公立系の医学図書館に合わせ、現行の基準料金を続けることにした。なお、機関の事情によって採用できない場合は、FAX料金同様その会員の定めた料金を優先する。
- (2) 総会プログラムの作成（総会報告参照）。

I 各事業部報告と協議事項

事務局（総務・会計）：①会員異動：入会→済生会兵庫県病院（兵庫）、大阪府済生会泉尾病院（大阪）、小牧市民病院（愛知）（別掲参照）。②役員委嘱状の発送。

研修部：①全国図書室研究会の準備状況について報告と協議（決定事項参照）。②第2回勉強会、定例研修会、名古屋研修会のスケジュールを協議。会誌編集部：『病院図書室』12巻1・2号と3号の編集状況と企画、広告の扱いについて報告。統計調査部：今年度の調査については修正項目を次回幹事会に提案する。10年間のまとめを検討してみる。

II 決定事項

- (1) 幹事等の役割分担

事務局：（会計）加島民子（総務）松井美抄枝
研修部：○松本純子、山室真知子、徳田雅子、
※林伴子、※大平美里
会誌編集部：○首藤佳子、前田元也、山崎捷子、
※浜口恵子、※中嶋和子、※田中泉美
統計調査部：○笠原廣子、※大平美里
目録編集委員会：○加島民子、松本純子、※重富久代、
※足立ひとみ、※山口佐保
選挙管理委員：○大橋真紀子、山口佐保、七浦紀子（○印は部長・委員長、※印は一般会員）

(2) 全国図書室研究会の企画について

研修部より提出された企画案に基づいて検討した。その結果、次の要綱で企画していくことになった。日程；8月末か9月始め、会場地；神戸市、テーマ；「これからの資料保存」、プログラム；講演2題とシンポジウムその他、展示；アドニス（交渉）講師の人選は出来るだけ関西地区からとし、予算案については研修部で算定して、これらをまとめ5月末までに日本病院会へ提出する。